

# 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[パケットのキャプチャ](#)

[Cisco IOS リリース 12.2\(18\)SXF](#)

[Cisco IOS リリース 12.2\(33\)SXH 以降](#)

## 概要

このドキュメントでは、Supervisor Engine 720 を実行する Cisco Catalyst 6500 シリーズ スイッチで、スイッチ プロセッサ ( SP ) の CPU とルータ プロセッサ ( RP ) の CPU 間のパス上のパケットをキャプチャするために、**RP-Inband SPAN** としてスイッチポート アナライザ ( SPAN ) 機能を使用する方法について説明します。

このパスのすべてのパケットが CPU に到達するわけではありませんが、このプロセスは CPU にパントされるトラフィックによる CPU 使用率の高い状況を分析する良い例になります。

## 前提条件

### 要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Supervisor Engine 720 が稼働する Cisco Catalyst 6500 シリーズ スイッチに基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな ( デフォルト ) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

## パケットのキャプチャ

スイッチで実行される Cisco IOS<sup>®</sup> のバージョンを判別し、該当するコマンドを使用します。

## Cisco IOS リリース 12.2(18)SXF

```
6500#monitor session 1 source interface <mod/port>
!Use any dummy interface that is administratively shut down.
```

```
6500#monitor session 1 destination interface <mod/port>
! interface with PC running wireshark attached
```

```
6500#remote login switch
```

```
6500-sp#test monitor add 1 rp-inband tx
```

## Cisco IOS リリース 12.2(33)SXH 以降

```
6500(config)# monitor session 1 type local
```

```
6500(config-mon-local)# source cpu rp tx
```

```
6500(config-mon-local)# destination interface <mod/port>
! interface with PC running wireshark attached
```

```
6500(config-mon-local)# no shut
```

この設定は SP-RP インバンド パスのトラフィックをミラーリングし、それを宛先インターフェイスに転送します。ネットワーク インターフェイス カード (NIC) で受信されるトラフィックをキャプチャするために、宛先インターフェイスで PC を接続し、スニファ アプリケーション (Wireshark など) を開始します。